

45 危機管理・リスク管理研修Ⅱ

【合同研修】

～所属長として知っておきたいリスク管理を学ぶ(BCP等含む)～

目的	組織運営や業務執行上で発生する不測事態やリスクに適切に対応できる能力を習得するとともに、リスクに強い組織構築のための知識や手法を学ぶ。			
内容	平時・有事の両場面において、リスク管理・危機管理を適正かつ戦略的に実行するための「知識と能力」について再確認する。組織・職場を意識したリスクマネジメント遂行のため、対策本部体制の設置意義など、有事における対応方法を中心にテーマごとの事例演習を通じて、実務のノウハウを学ぶ。			
実施年月日	令和7年11月5日(水)	定員	48名(市町村職員12名 県職員36名)	
対象者	(市町村) 課長補佐等以上の職員 (県) 課長補佐級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員、課長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和7年9月24日(水)	《第11回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—		その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	<p>【一般社団法人 日本経営協会 講師 森 健(もり たけし)氏】</p> <p>1966年生まれ 開成高校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業。 大学卒業後、静岡県下田市役所に入庁。 税務課、建設課、総務課での勤務、静岡県庁防災局への出向を経験。 下田市経営戦略会議の設置など内部統制導入時代を先取りした行政改革への新たな手法導入や、県庁における危機管理マニュアル策定プロジェクト責任者等の危機管理体制強化の実務に携わる。 下田市役所退職後、2007年から自動車部品グローバルメーカーの住友電装(株)にて、リスク管理体制再構築やBCP策定、全社的な人事・労務・安全管理・採用から人材育成まで幅広く携わる。2011年から大手アウトソーシング系企業で内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメント、上場プロジェクトの法務責任者を務める。 2015年に独立し、官公庁や都道府県、区市町村、民間企業、大学での講義、法律書の執筆や法律雑誌への寄稿等幅広く活動している。</p> <p><主な著書> 「地方自治体のリスク管理・危機管理」 「図解 新任役員のための法務・リスクマネジメント」 「企業法務入門テキスト ～ありのままの法務～」</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を挙げながらの講義で大変興味深く、先生の講義に引き込まれた。 ・リスク管理、危機管理の視点は、コンプライアンスの徹底からリスクを洗い出し通常業務との一体化から職場管理の強化を図る考え方をわかりやすく解説され非常に有意義な研修となった。 ・事例演習により班内協議をする中で、自分では気づかない考え方を得る機会となった。 ・日常の業務において参考になる点が多かった。防災関係部署の職員には受講を勧めたい。 			
備考				

時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		8:50	20 30						15	
1 日 目	受 付	オリエンテーション	1 導入講義 グローバル&劇的変化への対応 危機管理・リスク管理の枠組み など		昼 食	3 「有事」における対応方法 (1) 危機管理体制(対策本部体制)の持つ意味 (2) 有事に「動ける組織」を目指す (3) メディア対応の基本				閉 講
			2 「平時」における重点取組事項 (1) コンプライアンスの徹底 (2) リスク管理・危機管理体制の強化 地方公共団体における「内部統制」 (3) ハラスメント防止 (4) メンタルヘルス対策 (5) 職場内の人材育成			4 まとめと質疑応答 (1) 「訓練でできないことは実践はできない」 (2) 質疑応答				

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。